

2019. 03. 31 総目次、231

2019. 02. 04 建築を残すのはやはり大変、230

2019. 02. 03 ボカ杉は使えない材という誤った評価あり、思い込みが定説に、229

2019. 01. 3 明日を憂う技術者集団があります、1228

2019. 01. 25 建築系の大新年会にて、227

2018. 08. 02 2018 西日本豪雨災害、226

2018. 06. 25 地震でのブロック塀転倒事故、塀をつくらない街づくりで解決を、225

2018. 06. 21 建築基準法改定について、224

2018. 06. 16 CAD ソフトも新バージョンのものを買わないと仕事にならず、223

2018. 06. 06 伝統木造はアケがあって良さが發揮、222

2018. 06. 01 建築は庭を造らないのか、221

2018. 04. 07 ケイアトへの建築教育、220

けて、196

2017. 08. 02 建築分野でも女性に対する差別的な用語あり、195

2017. 07. 23 降幡氏の古民家再生の話を聞いていろいろと思う、194

2017. 07. 13 邪馬台国議論には中国事情の理解から、193

2017. 07. 05 子どもの環境を扱う学協会、192

2017. 06. 24 壁量計算には積雪荷重や地盤状況にも配慮を、191

2017. 06. 23 耐震設計での想定外と不十分、190

2017. 06. 22 建築基準法の改定についてまとめる、189

2017. 06. 16 富山県滑川宿の建物探訪、188

017. 06. 13 実験は段取り良く進めるべし、187

2017. 06. 07 職人は組織運営の中に組み込まれるとしたら手伝いとなるのか、186

2017. 06. 06 人には見合った出会いがあるって、185

2017. 06. 05 専門系専門委員会の出席率はすこぶる悪い、184

2017. 06. 04 応答ペタルは実に人間的という、183

2017. 06. 03 鉄筋コンクリートは人間的、182

2017. 06. 01 効率を求めて肥大にした建築系の新年会、181

2018 年度↑ 2017 年度↓

2018. 03. 30 建築ブログの 2018 年度総目次、219

2018. 02. 18 伝統木造で飯の食える世の中とは、218

2018. 02. 07 建築関係者の大新年会、217

2017. 12. 20 建築士会への若手結集には、216

2017. 12. 15 住まいづくりには建物構造にもっと金をかける風潮があれば、215

2017. 12. 14 違反建築はなぜなくならないのか、214

2017. 12. 10 建築系団体の会員数が減少続く、213

2017. 12. 09 街づくりでは建築の専門家の出しやばりがち、212

2017. 12. 06 専攻建築士に思う、211

2017. 12. 04 建築家、なぜ思想的キャッチコピーにこだわるのか、210

2017. 12. 03 どこの地域でも災害被害予測が何回となくされているが、209

2017. 11. 24 50 年前から設計用入力地震動評価といわれているが、208

2017. 11. 23 ガラス張り建築に思う、207

2017. 11. 23 最近の建築家は建築に理屈を付けている、206

2017. 11. 22 建物を含めた全体風景を堪能したいもの、205

2017. 11. 21 風景に溶け込む建築、204

2017. 11. 20 建築士会には建築以外の人も入っておられる、203

2017. 11. 17 街づくりに建築家は入るとよくないと地元は言うが、202

2017. 11. 16 アメリカの建築確認申請について、201

2017. 11. 15 講演会やシンポジウムが頻繁開催はいいが、企画側が連携して調整を、200

2017. 11. 14 都市計画出身で構造を専門にした人がいる、199

2017. 11. 10 実務者系の学協会の研究集会にて、198

2017. 09. 20 測量を研究されている方に言いたい、197

2017. 08. 21 富山県唯一木造校舎の田中小学校の保存活用に向